

労福協 NEWS

2018.1 No.87

希望の持てる社会の実現に向けて・・・

Hope is a Wish for Something to Come True by Action Each Other.

希望学から私が知った一番大事な事実とは、
よくわからないものにチャレンジすることを応援してくれる人が、
まだまだ日本にはたくさんいるということだったかもしれません。
希望をつくるには、応援が必要です。
誰のことも応援しようとせず、
応援だけはしてもらいたいというのは、無理な話です。
自分も誰かを応援することが、応援を得ることにつながります。
希望づくりを互いに応援する関係があるところこそ、
希望の時代は開けるのだと、私は今、思っています。



副題：2017.11.6

平成29年度徳島県子どもの未来応援コーディネーター養成基本研修

東京大学社会科学研究所教授 玄田有史氏

「希望学から考える生きる力の育て方～つながりが子どもを育てる～」より

本文：玄田有史著『希望のつくり方』、岩波書店 2010年、221-222ページより

写真：県民と働く者のとくしまフェスタ 2017 & 2017.10.21 徳島ファミサポ「ハロウィン交流会」より

「労福協NEWS」は、連合、労金、全労済、勤労者福祉ネットワーク、労館、労福協の6団体による「共同デスク編集委員会」を持ち発行しています。

労 福 協

労働者福祉運動の再認識と
前進・拡大を図ろう

徳島県労働者福祉協議会

会 長 川 越 敏 良

新春のお慶びを申し上げますと共に、皆様方にとってこの一年が希望に満ち、未来への確かな一年となりますことをご祈念申し上げます。

昨年中は、徳島県労働者福祉協議会の運動と事業運営・組織運営にご理解をいただき、ご支援ご協力をいただきましたことに心から感謝を申し上げます。

昨年の流行語大賞に「忖度」が選ばれたように、安倍自民党政権の絶対多数を背景に、メディアを含め社会全体が政権に阿る流れの中で、労働者福祉運動全体がその地盤低下を余儀なくされています。

昨年度の労福協の取り組みを振りかえるとき、このような動きを背景に、運動と事業推進の新たな段階の準備の一年であったと考えています。

運動面では、社会情勢や労組役員の若年化、また、労働者福祉事業団体の規制緩和などによって、労働者福祉事業の理念や役割の継承が困難になってきている現状に鑑み、セミナーの準備を進めており、近々開催できる運びとなっています。是非各団体の新人などの研修の場として活用をいただきたいと思ひます。

事業運営では、地域サポートステーション事業に一般競争入札制度が導入され、また、生活困窮者自立支援事業は3年目の見直し議論が中央段階で進められるなど、新たな展開への動きが現れてきており、これらの情勢に対応して、しっかりと実績を積み上げてくる中で、その地歩を固めてきたと自負をいたしております。

組織運営については、職員からの役員登用をお

こない、常務理事として、事務所が分散しているパーソナルサポート事業の連携やサポステ事業との連携を図る体制としながら、各事業の拡充に努めてきました。

今年は、このような昨年の取り組みの上に立って、各事業を労福協事業として定着させ、これを担い、拡充させていくことが求められていると考えています。

そのためには、①行政との連携を深めると共に、官民を問わず、地域資源活用の立場から、ネットワーク作りと相互活用を図る、②労福協事業を担う職員の資質向上を目指して、自己研鑽と研修の強化を図ることが求められています。

これらの取り組みは、労福協単独では為し得ないところであり、会員団体をはじめ、協力団体の皆様のご理解とご支援を切にお願いする次第です。

労福協は、引き続き労働福祉事業団体の要としての役目をしっかりと果たし、労働者福祉事業の発展と拡大に邁進していく決意を申し上げ、ごあいさついたします。

今年もよろしくお願い申し上げます。

2017年度徳島県労働者福祉協議会役員名簿

役 職 名	氏 名	所 属
会 長	川 越 敏 良	徳島県労働者福祉協議会
副 会 長	森 本 佳 広	日本労働組合総連合会徳島県連合会
//	藤 岡 一 雄	全 労 済 徳 島 推 進 本 部
//	寺 西 稔	四 国 労 働 金 庫
専務理事	林 善 章	徳島県労働者福祉協議会
常務理事	兼 松 文 子	徳島県労働者福祉協議会
理 事	久 積 育 郎	徳島県労働者福祉ネットワーク
//	福 本 純	徳 島 県 労 働 福 祉 会 館
//	大 地 均	全 徳 島 建 設 労 働 組 合
//	梶 原 樹	徳島県生活協同組合連合会
//	山 藤 正 義	徳 島 県 退 職 者 連 合
//	瀧 誠 司	うずしお法律事務所
//	境 泉 洋	徳 島 大 学
監 事	奥 田 浩 次	四 国 労 働 金 庫
//	藤 原 茂	税理士法人ティグレパートナーズ徳島
//	豊 田 浩	全 労 済 徳 島 推 進 本 部

連 合

新年のごあいさつ



日本労働組合総連合会徳島県連合会
会 長 森 本 佳 広

新年明けましておめでとうございます。ご家族おそろいで穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中における連合徳島の運動に対しましての格別のご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

さて、昨年は、政府が提唱し、私たち労働団体も期待していました「働き方改革」が、3月28日に「実行計画」が示され、9月には、労働政策審議会の審議を経て労働基準法の改正法案要綱が決定されました。

連合は、この労政審の審議の中で、残業代ゼロ制度と言われている高度プロフェッショナル制度や企画業務型の裁量労働制の不必要な拡大などについては法律案から外すように要請をしてきました。しかし、労働基準法始まって以来、70年の歴史の中で、初めて罰則付きで実質的な労働時間の上限規制を明記する改正など労働者にとって大変重要な項目も含まれていることから、前述した2点など労働者にとって不必要な改正部分については削除するよう意見を付した上で、「大筋で賛成」という審議会の結論を受け止めてきたところです。

働く者の命と健康を守り、ワーク・ライフ・バランス社会を実現するためには、労働政策審議会での議論や国会での法案内容の審議過程も重要ですが、なんといっても実際の現場に最も近い職場や地域から「働き方」「働かせ方」の見直しを現状の法律の範囲でも不断に進めることが重要です。

私たち連合が中心となって進めていく2018春季生活闘争は、昨年に引き続き労使の知恵と努力を結集して「経済の自律的な成長」「社会の持続性」を実現するために、すべての働く者の「底上げ・底支え」「格差是正」の流れを継続し、社会保障と税の一体改革の実現で将来不安を払拭し、さらに広がりを持たせるためのたたかいです。

同時に、連合ならではの春闘期の取り組みと組織

拡大の営みを連動させ、労働組合の良さ、労使関係の大切さをあまねく広げていかなければならないと考えています。

連合が提唱する「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、一人ひとりが自らの雇用や生活と政治・政策とのつながりを認識し、行動を促すための取り組みが不可欠です。「クラシノソコアゲ応援団」キャンペーンをはじめ、地域活性化を促す「地域元気フォーラム」の継続的な開催など「ヨコの広がり・タテの深掘り」を意識しつつ、積極的な内外へのコミュニケーションで運動のすそ野を拡げるべく、お互いに努力を重ねていくことが重要であると考えます。

結びに、今年1年が皆様方にとりましてよき年になりますようお祈り申し上げますとともに、私たち連合の運動に対する皆様方より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。私のあいさつにさせていただきます。

〈連合徳島2018～2019年度役員〉

役 職 名	氏 名	組 織 名
会 長	森 本 佳 広	自 治 労
会 長 代 行	新 居 栄 治	電 機 連 合
副 会 長	大 谷 竹 人	自 治 労
〃	田 村 敬 一	J P 労 組
〃	鎌 谷 浩 司	電 力 総 連
〃	矢 鳴 浩 一	U A ゼ ン セ ン
〃	尾 関 定	自 動 車 総 連
〃	松 本 光 弘	自 治 労 (県 職 労)
〃	川 口 誠 二	情 報 労 連 (民 間 大 手 部 会)
〃	宮 本 武 司	交 通 労 連 (民 間 中 小 部 会)
〃	吉 野 泰 甲	全 水 道 (官 公 労 部 会)
〃	藤 田 晶 子	U A ゼ ン セ ン (女 性 委 員 会)
事 務 局 長	島 和 久	電 力 総 連
副 事 務 局 長	山 本 雅 敏	交 通 労 連
〃	片 岡 可 恭	自 治 労
財 政 局 長	小 谷 正 勝	J A M
中 小 労 働 対 策 本 部 長	原 田 俊 彦	全 国 一 般
執 行 委 員	山 田 雄 作	農 協 労 連
〃	合 田 泰 弘	運 輸 労 連
〃	井 内 貴 志	J R 連 合
〃	松 本 忠 宏	私 鉄 総 連
〃	鎌 田 耕 一 郎	基 幹 労 連
〃	石 橋 元	J E C 連 合
〃	小 栗 穰	国 公 総 連
〃	小 原 伸 二	県 教 組
〃	三 木 裕 子	全 国 一 般 (女 性 委 員 会)
会 計 監 査	田 村 貴 之	四 国 労 金 労 組
〃	刀 禰 康 太	全 労 済 労 組
〃	水 元 雄 大	政 労 連

ろうきん

新年のご挨拶「金融包摂」



四国労働金庫

理事長 小川 俊

新年あけましておめでとうございます。

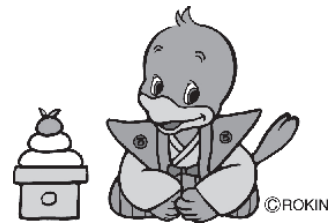
皆様方には、ご家族と共に新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げますと共に、今年が幸せ多い年となりますようご祈念申し上げます。

金融業界では日銀のマイナス金利政策の長期化により収益が大幅に低下し、メガバンクの人員削減・店舗縮小がマスコミ報道を賑わしています。このような状況下では特に、金融取引から排除される弱者（中小企業・勤労者）が増加することが懸念されています。

「四国ろうきん」を取り巻く環境も同様ではありますが、私達は銀行とちがい「会員組織の金融機関」「働く仲間が作った福祉金融機関」であり、「ろうきん理念」のもと金融取引から排除される勤労者があってはならないとの想いで「金融包摂」と言う言葉を前面に出し「第7期中期経営計画」を策定・実現して、この難局を乗り切ってまいります。

今年も役職員一同、働く人達の金融面での生活応援組織である「四国ろうきん」の役割を肝に銘じ仕事をしてまいります。

より一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



【徳島地区選出理事・監事】

副 理 事 長	河 村 和 男	(パナソニックヘルスケア労働組合四国支部)
専 務 理 事	住 友 誠 教	(員 外)
常 務 理 事	大 西 和 彦	(員 外)
理 事	田 村 敬 一	(JP労組徳島西支部)
理 事	川 口 誠 二	(情報産業労働組合連合会徳島県協議会)
理 事	大 谷 竹 人	(自治労徳島県本部)
監 事	尾 関 定	(ジェイテクト労働組合徳島支部)

【徳島営業本部・営業店】

本 部 長	寺 西 稔	副 本 部 長	高 来 徹
徳島支店長	遠 藤 好 人	池田支店長	小 谷 博 文
徳島北支店長	山 本 真 史	阿南支店長	今 治 五百合
鴨島支店長	西 英 二	徳島LC所長	佐々木 美 紀
徳島北LC所長	太田越 貴 久		

※LC＝ローンセンター

全 労 済

創立 60 年、生活の安心に 「なくてはならない」存在を めざします



全労済徳島推進本部(徳島県共済生協)
本部長(理事長) 藤岡 一雄

新年おめでとうございます。

本年が皆さまにとって希望に満ちた幸せ多い年になるよう願います。

さて、私たち全労済徳島推進本部は、1月19日に創立60周年を迎えます。振り返りますと、この60年の歩みは、私たちがずっと希望をつなぐ存在であり続けるための努力の道のりでした。創立当初に火災共済から出発した事業は、「住まいの保障」「ひとの保障」「くるまの保障」へと拡充し、いまや20余の共済を提供できるまでに成長・発展を遂げることができました。この共済事業と運動を通じて、組合員の方々の、かけがえのない生活を守り続けてきました。

1980年、生活保障設計運動をスタートさせました。今の保障で足りているかな？ムダはないかな？という漠然とした将来の暮らしへの不安を、公的保障やライフプランをベースに必要な保障を設計し、的確に備えることで安心に変えるお手伝

いをしたいと願うからです。

1995年1月17日、阪神・淡路大震災の発生。共済金・見舞金の支払総額は185億円にのぼりました。自然災害に対する生活再建への備えは自助努力だけでは到底賄えるものではありません。全労済は、国からの支援が必要だと考え、約2,500万人の署名を集め、「被災者生活再建支援法」成立に大きな役割を果たすことができました。また、阪神・淡路大震災をきっかけとして、自然災害共済の制度を実施しました。

2011年3月11日、東日本大震災が発生。共済金・見舞金の支払総額は、1,276億円余りとなり、被災された組合員への対応は「最後のおひとりまで」としてきました。2016年4月14日および16日、熊本地震が発生。共済金・見舞金の支払総額は、約135億円となっています。このような自然災害への備えが大切とわかってはいても、日頃はなかなか難しいのが「家族と一緒に防災について考える時間」です。なるべくわかりやすく、楽しく、見たり聞いたり体験したりしながら、防災について家族で学び、備えを見直す機会をつくれたらとの思いで、内閣府が国民の防災意識向上を目的に推進している「ぼうさいカフェ」にも取り組んでいます。

2016年に「協同組合」がユネスコの無形文化遺産に登録されました。私たち全労済は、共済事業を軸に、組合員・生活者への「お役立ち」発想と組織・団体との「共創」活動で、取り巻く環境が厳しくなる中で、安心を提供するとともに、社会にとって「なくてはならない存在」をめざします。

今年も引き続き皆さまのご支援をいただけるようお願いいたします。

〈2017年度全労済徳島推進本部 役員体制〉

役 職 名	氏 名	所 属	役 職 名	氏 名	所 属
本 部 長	藤岡 一雄	全労済徳島推進本部	代 表 委 員	鎌田 耕一郎	新日本電工労働組合徳島支部
副 本 部 長	新居 良雄	全徳島建設労働組合(フレッセ)	代 表 委 員	新居 栄治	パナソニックヘルスケア労働組合四国支部
事 務 局 長	豊田 浩	全労済徳島推進本部	代 表 委 員	磯田 稔	四国化成徳島労働組合
代 表 委 員	松永 勉	東邦テナックス労働組合徳島支部	代 表 委 員	松本 光弘	徳島県職員連合労働組合
代 表 委 員	宮本 武司	四国高速運輸労働組合	代 表 委 員	東條 光洋	徳島県教職員団体連合会
代 表 委 員	尾関 定	ジェイテクト労働組合徳島支部	代 表 委 員	田北 直樹	徳島県高等学校教職員組合
代 表 委 員	益田 英明	日清紡労働組合徳島支部	代 表 委 員	亀田 真	徳島市交通労働組合
代 表 委 員	鎌谷 浩司	四国電力労働組合徳島県本部	代 表 委 員	森井 郁男	小松島市職員組合
代 表 委 員	岩生 大治	徳島バス労働組合	代 表 委 員	梶原 樹	生活協同組合とくしま生協
代 表 委 員	山田 知弘	徳島県公立学校教職員組合	代 表 委 員	合田 泰弘	全日通労働組合四国支部徳島地域協議会
代 表 委 員	三木 裕子	全国一般徳島地方労働組合	代 表 委 員	好野 祐司	徳島市役所職員労働組合連合会
代 表 委 員	鈴木 圭吾	三好市職員労働組合連合会			

勤労者福祉ネットワーク

2018年ごあいさつ



(公財)徳島県勤労者福祉ネットワーク
理事長 久 積 育 郎

新年あけましておめでとうございます。

皆様には新たな希望を持って新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は当財団の諸事業に対し、特段のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、当財団は設立20年を経て“これからの10年”へ向け、働く者と家族のそれぞれのライフステージに対応し、“いつでも、どこでも、だれでも”が利用できる勤労者の総合福祉推進をめざし、着実に歩むことができました。ここに改めて深く感謝を申し上げます。

さて、当財団にとって2018年度の重点課題は、

- (1) あわ～ず徳島の全県広域化の早期実現と更なる事業拡充、並びに第7回となる会員交流会の開催
- (2) ファミリー・サポート・センター事業の第2ステージとして、板野東部・徳島ファミサポにつづく、病児・病後児預かりの全県での実施
- (3) “結婚したい”をサポートする県民運動として、マリッサとくしま(とくしまマリッジサポートセンター)の更なる事業拡大

(4) NPO・市民団体等との協働による“もったいない”から“ありがとう”へのフードバンクとくしま・いきいき安心子ども食堂、“ほっとけん・なんとかでけんか・なんとかせな”の思いを支援するハートフルゆめ基金など連携事業の推進

(5) 四国大学との包括的連携協定締結に基づく労働者福祉分野の調査・研究並びに連携事業の推進

(6) 財団の“これからの10年”へ向けた事業計画策定のための県内中小企業1000社(事業主・社員)の福利厚生をはじめとする実態・意識調査の実施

(7) 国連で採択された「核兵器禁止条約」の早期締結を求める署名運動への協力、並びに健康とふれあいの森(三野町)でのヒロシマ被爆アオギリ2世植樹3周年の平和祈念の集いの開催などであります。

日本社会は、世界に類を見ない少子高齢・人口減少社会を迎え、子どもの貧困までもが社会課題となる、大きな転換期にあります。

このような“混沌(カオス)”の時代にあって、当財団は設立の原点である、人々の連帯を軸とした“共助・共生の福祉社会”の実現へ向け、県内における勤労者福祉を担う唯一の公益財団法人として、さらに力強く、前進を続けたいと考えています。

新年にあたりまして、皆様のご健勝ご活躍を祈念すると共に、当財団への更なるご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のごあいさつといたします。

〈(公財) 徳島県勤労者福祉ネットワーク役員〉

役職名	氏名	所属	役職名	氏名	所属
理事長	久 積 育 郎	(公財)徳島県勤労者福祉ネットワーク	理事	脇 田 亮	徳島県商工会連合会・専務理事
副理事長	柿 内 慎 市	徳島県経営者協会・会長	〃	寺 西 稔	四国労働金庫徳島県本部・本部長
〃	川 越 敏 良	(公社)徳島県労働者福祉協議会・会長	〃	藤 岡 一 雄	全労済徳島推進本部・本部長
〃	朝 日 隆 之	徳島県商工労働観光部・部長	〃	喜多條 雅 子	NPO法人Creer・理事長
専務理事	杉 本 友 好	(公財)徳島県勤労者福祉ネットワーク	〃	加 渡 いづみ	四国大学短期大学部・教授
常務理事	川 原 佳 子	(公財)徳島県勤労者福祉ネットワーク	監 事	武 田 勝 行	武田勝行税吏事務所・税理士
理 事	小 泉 吉太郎	徳島県市長会・事務局長	〃	蔭 山 眞 應	徳島県中小企業団体中央会・専務理事
〃	三 宅 祥 壽	徳島県町村会・常務理事	〃	森 本 佳 広	日本労働組合総連合会徳島県連合会・会長
〃	石 井 一	徳島県商工会議所連合会・専務理事			

労働福祉会館



謹賀新年

労働福祉会館理事長

藤原 学

皆様方には、つつがなく新しい年を迎えられましたこと心からお慶び申し上げます。

わーくびあ徳島は、皆様方のお陰を持ちまして、本年度設立47年を迎えることができました。

この間、社会的な課題を取り上げた公開講座、子ども食堂の活動、障がいのある人の働ける職場づくりを進めるクレアールやフードバンクとくしまなどのNPO、公益社団、一般社団が入居することで、お年寄りから子どもたちまで幅広く親しまれ、文字通り県民に開かれたわーくびあ徳島として活用されております。

また、わーくびあ徳島では、将来の方向性を検討する「将来の新館建設を展望した検討委員会」を設置し、昨年4月「中間まとめ」を確認しました。「中間まとめ」は、①「県内勤労者、県民の新たなセンターの建設を基本として、具体的に構想を検討する」②「新館建設へ向けて態勢を

整えるため、法人統合を基本に検討する」③「関係団体は、①②に関する検討を開始する」の三点で現在本答申に向けて専門家(弁護士・税理士)からの意見をまとめる作業に入っているところであります。

更に、公益目的支出事業としての「社会運動資料センター事業」は、公開講座の開催、社会運動や労働運動、部落解放運動等に関する資料、団塊世代が持つ貴重な書籍・資料等後世の運動の参考とすることを目的に収集活動を進めています。今後とも、ご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。

結びに、本年が皆様方にとってより良き一年でありますことをお祈り申し上げ、年頭にあたりましてのご挨拶いたします。

2017年度徳島県労働福祉会館役員一覧

役職名	氏名	現在の所属
理事長	藤原 学	徳島県労働福祉会館
副理事長	久積 育郎	徳島県勤労者福祉ネットワーク
常務理事	福本 純	徳島県労働福祉会館
理事	川越 敏良	徳島県労働者福祉協議会
〃	藤岡 一雄	全労済徳島推進本部
〃	寺西 稔	四国労働金庫
〃	森本 佳広	日本労働組合総連合会徳島県連合会
監事	豊田 浩	全労済徳島推進本部
〃	奥田 浩次	四国労働金庫

フレッセ

2018年
年頭のご挨拶

フレッセ執行委員長

大地 均

新年明けましておめでとうございます。日頃はフレッセの諸活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私たちは一般勤労者に比べて不十分な福利厚生面を補うために、国民健康保険や労働保険、組合共済などを中心として、建設に従事する仲間の仕事と生活を守る取り組みを進めてきました。

また、住環境の改善や、地域経済の活性化にもつながる「リフォーム助成制度」の創設や拡充、低い賃金水準の下支えとなる公契約条例の制定に向けた取り組みを進めています。

一昨年の熊本地震は、これまでの南海トラフを震源とする南海地震のみならず、中央構造線を中心とする直下型地震の脅威を想起させました。県民の命を守るための住

宅の耐震化は、待ったなしの状況です。

組合でも耐震シェルターの普及や耐震改修を通じて貢献していきます。

組合や仲間を取り巻く状況は、依然きびしく、慢性的な後継者不足、都市と地方の格差の拡大、建設従事者の高齢化等々、乗り越えなければならないことは山積みです。

これまでに培ってきた仲間からの信頼と支持のもと、県内で働く建設労働者・職人の仕事と生活を守るための取り組みを進めていきます。

今後ともフレッセの活動に対しまして、皆様より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

〈フレッセ県本部役員名簿〉

役職名	氏名
執行委員長	大地 均
副執行委員長	中山 邦正
〃	向井 行雄
書記長	新居 良雄
財政部長	賀治 隆志
執行委員	中 敏昭
〃	秋山 威隆
〃	相原 隆
〃	坂本 健作
〃	井原 弘
〃	長谷部 尊之
〃	白土 義信
〃	楠野 進
〃	外山 康雄
〃	大溝 典幸
〃	住友 寛
〃	西野 慶憲
〃	田中 順二
〃	藤本 順二
青年部長	平田 孝夫
会計監査	山崎 達雄
〃	伊藤 好威
〃	多田 勲

徳島県生活協同組合連合会

2018年迎春の
ごあいさつ

徳島県生活協同組合連合会
会 長 多 田 道 代

新年あけましておめでとうございます。

皆様には新たな希望と共に新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃は、私ども連合会に多大なご支援ご協力を賜りありがとうございます。

昨年さまざまなニュースが飛び交い、あっという間の一年だったように思いますが、ひとときわ記憶に刻まれた出来事は、突然の衆議院解散総選挙だったのではないのでしょうか。小池氏率いる希望の党出現から少しは政権交代も垣間見えましたが、終わってみれば、与党圧勝、過半数、内閣も変わることなく、ただ与党を勢いづけお墨付きを与えた結果となりました。その直後、米大統領トランプ氏の来日もあり、米国の傘下で今後も改憲路線を走ろうとしている安倍政権に不安を覚える国民は少なくないと思われます。

昨年7月に、国連総会において採択された核兵

器禁止条約に日本は不参加、また、条約制定に貢献した、国際NGOネットワーク「ICAN」のノーベル平和賞決定への反応も複雑になっていると言われています。

いずれにしても、私たち消費者が、国民が声を上げ続けなければ議論にもなりません。日々の暮らし、地域社会の安寧が引いては平和な世界への道しるべとなることを願い、今年も活動して参ります。

皆様の益々のご活躍とご多幸を祈念するとともに、当連合会へのさらなるご支援ご協力をお願い申し上げます。

〈徳島県生活協同組合連合会役員〉

役職名	氏 名	所 属 単 協 名
会 長	多 田 道 代	生活協同組合とくしま生協
副 会 長	藤 岡 一 雄	徳島県共済生活協同組合
専務理事	梶 原 樹	生活協同組合とくしま生協
理 事	木 津 正 憲	徳島県学校生活協同組合
理 事	豊 田 浩	徳島県共済生活協同組合
理 事	山 本 浩 史	徳島健康生活協同組合
理 事	松 田 大 亮	徳島健康生活協同組合
理 事	八 木 史 仁	生活協同組合コープ自然派しこく
理 事	鳥 養 美 文	徳島県職員生活協同組合
理 事	高 橋 敬 司	徳島大学生生活協同組合
理 事	細 川 尚 光	生活協同組合とくしま生協
監 事	吉 野 才 治	徳島健康生活協同組合
監 事	宮 本 久 恵	生活協同組合コープ自然派しこく
監 事	長 尾 文 明	徳島大学生生活協同組合

徳島県退職者連合



新年のごあいさつ

徳島県退職者連合
会 長 小笠原 幸雄

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、退職者連合の活動に対し、格別のご支援、ご協力をいただきありがとうございました。

新しい年に当たり、当面の活動方針を紹介させていただき、ご挨拶と致します。

全国で84万人を擁する日本退職者連合は、昨年7月定期総会を開催し、向こう1年間の運動方針を決定しました。

その方針の中心は、社会保障の整備です。

このところ高齢者を取り巻く情勢は一段と厳しさを増しています。

65歳以上の高齢率は、全国では27パーセントで、県としては32パーセントをオーバーしており、3人に1人が高齢者となります。

更に中山間地が多いため、幾つかの集落が消えており、市町村や民生委員、社協、自治会、NPO等、ボランティアの活動に援助されて生活しているのが実態です。

また人口の高齢化が進めば、年金、医療、介護などの費用がかさむのは当然です。

2018年度の社会保障費は、医療、介護などを削減する方向で検討されており、年金支給額を抑制する「年金改革法案」は衆議院の審議で強行採決により成立されました。

高齢者に対する年金支給額の削減は、高齢者の生活破壊を招きかねず、慎重な扱いを期待します。

本年も、労働者福祉協議会の活動が益々発展されるよう祈念すると共に、私たちの活動に対し、ご支援、ご協力を賜りますようお願いし、新年のごあいさつと致します。

〈徳島県退職者連合役員〉

役職名	氏 名	組 織 名
会 長	小笠原 幸 雄	NTT労組退職者の会徳島県支部協議会
副 会 長	宮 本 剛	U Aゼンセン友の会徳島県支部
〃	澁 谷 良 臣	全日本自治体退職者会徳島県本部
〃	近 藤 啓 治	日本郵政グループ労働組合徳島連絡協議会
〃	八 木 由 利 子	全日本自治体退職者会徳島県本部
事 務 局 長	山 藤 正 義	林野関連退職者の会徳島県支部
事 務 局 次 長	坂 尾 直 也	徳島県労働金庫退職者の会
幹 事	福 井 英 利	徳島県退職教職員協議会
〃	四 宮 通 治	全日本自治体退職者会徳島県本部
〃	坂 本 忠 成	NTT労組退職者の会徳島県支部協議会
〃	松 本 隆 之	たばこ退職者の会徳島地区連絡会
〃	青 山 紘 一	徳島バス労働組合退職者の会
〃	国 見 聖	徳島造船退職者の会
〃	鏡 和 博	農林水産省徳島退職会協議会
〃	有 瀬 政 明	全国山林労働組合徳島県本部退職者の会
〃	平 岡 重 利	全日本自治体退職者会徳島県本部
〃	児 島 等	徳島県農協労働連退職者の会
会 計 監 査	橋 本 保 子	徳島県退職教職員協議会
〃	富 田 真 由 美	徳島県退職女性教職員の会

NPO法人 徳島労働安全衛生センター



新年のごあいさつ

NPO法人
徳島労働安全衛生センター

理事長 新居 良雄

2018年の新年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃は、NPO法人徳島労働安全衛生センターの活動に対し深いご理解とご支援を賜り誠に有り難く、厚くお礼申し上げます。

当センターは労働災害や職業病を未然に防止するため、労働者の安全と健康に関する調査、相談、教育、啓発事業、衛生管理者の育成等々の活動を展開しています。

全国の労働災害は長期的には減少傾向にありますが、2016年の休業4日以上死傷者は117,910人で、このうち928人の尊い命が失われました。特に第3次産業の死傷者が年々増加しており、全体の46%を占めています。

これらの背景には、労働人口の高齢化、急速な世代交代の進行による現場力の低下、若年層の危険認識の希薄化、雇用形態の多様化などに伴い、安全衛生教育、リスクアセスメント、危険予知活動などの安全衛生活動の低下が懸念されています。

また、職場におけるメンタルヘルス不調や過重労働、化学物質を原因とする健康障害といった課題に対しては、ス

トレスチェック制度や化学物質のリスクアセスメントを確実に実施するとともに、その効果的な活用が重要です。

このような状況のもと、労働災害などの悩み相談ダイヤルを開設し(労働災害、メンタルヘルス、石綿、職業病)、又、事業場における衛生管理を適切に進めていくためには、事業場における衛生管理スタッフが作業環境管理、作業管理、健康管理等の衛生管理に関する十分な知識を有していることが不可欠です。

当センターでは、事業主による自主的な労働災害防止活動へのサポートを通じて安全衛生水準の向上に寄与するため、「人財育成」「技術サービス」「情報発信」の側面から各種事業を積極的に展開しております。

企業内の衛生管理者育成を目的に、昨年も「安全・衛生管理者」第18期養成講座を実施し「第一種衛生管理者国家試験」に対し素晴らしい成果を残しました。

本年も、労働者の安全と健康を守るため当センターの業務運営に對しまして、益々のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

〈2017年度役員〉

役職名	氏名
理事長	新居 良雄
副理事長	島 和久
〃	大谷 竹人
〃	鎌谷 浩司
〃	吉野 泰甲
専務理事	田北 光広
理事	原田 俊彦
〃	矢嶋 浩一
〃	林 善章
〃	田村 敬一
〃	広田 拓也
〃	下 則子
〃	川口 誠二
〃	井内 猛
〃	小谷 正勝
〃	亀田 真
監事	後藤 和昭
〃	岩生 大治

一般社団法人 徳島県就職支援機構



新年のご挨拶

一般社団法人 徳島県就職支援機構

理事長 辻 博史

新年明けましておめでとうございます。

日頃は、「一般社団法人徳島県就職支援機構」に対して、ご協力とご指導を賜り厚くお礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

振り返ってみれば、個人的なことになりますが、事業団体は異なれど労働者福祉事業に携わって、40数年がたちます。ここ10年ぐらいは、①中央労福協の笹森元会長、②田辺鳴門市賀川豊彦記念館前館長の警咳に接し非常に実り多き時間を過ごさせていただきました。その格言に基づきますと次のようになります。味わい深いものですのでご紹介をします。①「同質の協力は和(足し算)にしか

りませんが、異質の協力は積(掛け算)」となって、測り知れないパワーを発揮します。②田辺先生からは「古人の跡を求めず、古人の求めたところを求めよ」。昔の偉人たちが、何をしたかという結果ではなく、何をしようとしたかを見極めなさいとの松尾芭蕉の言葉を教わりました。

さて、「格差と貧困」・「平和と民主主義」の危機が続いていると言われています。

こうしたなかで、上記の格言を思いながら行動していきたいと思います。

求職者雇用支援事業においても、受講者の応募状況が引き続き減少傾向にあります。

今年は事業を推進とともに大胆な見直しを行いますのでご支援をお願い申し上げます。

〈2017年度役員〉

役職名	氏名
理事長	辻 博史
理事	久 積 育 郎
〃	川 越 敏 良
〃	中 村 昌 宏
監事	枋 谷 旭

NPO法人 壮 生



新年のごあいさつ

NPO法人 壮生

理事長 中村 昌宏

新年 あけましておめでとうございます。新しい年が皆様にとりまして、幸多き輝かしい一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。

ところで、わが国の重要課題は急速に進行する少子高齢化への対応であると思います。人口は全国では年間約30万人の減少となっており、徳島県では年間約6千人減っております。一方、平均寿命は男性が80歳に達し、男女ともに香港に次ぐ長寿国となっております。労働力人口の減少は恒常的な人手不足状態となり、有効求人倍率は上昇しているものの、給与水準の改善に結びつかず、格差は一層拡大しております。また総務省の調査によりますと人口減少下にあつて、世帯数は微増し続けています。一見、良好なことのよう映りますが、実態は一人暮らし世帯が約35%を占め、とりわけ高齢者の一人世帯が急増してきております。

こうした社会情勢を直視し、私たち壮生では「老いてますます壮ん」を合い言葉として、一人暮らしシニアの健康、就労、生きがい、居場所づくりといった重要な課題に向けての取組を行っております。昨年7月にはこれからの共生社会を展望し、暮らしのサービスを希望する会員とサービスを提供する会員とのマッチングを行う「サポート壮生」をスタートさせました。その他の会員向け事業といたしましては、シニアが集う交流の場としての「シニアカフェグランマ」、偶数月に開催している「折り紙教室」、週2回開いている「パソコンサークル」等を実施しております。更に活動を活発にしていけるためにも、多くの皆様方の入会をお待ちしております。併せて、今後のご指導とご協力をお願いいたします。

〈2017年度役員〉

役 職 名	氏 名
理 事 長	中 村 昌 宏
副 理 事 長	前 田 す づ 子
専 務 理 事	元 川 仁
理 事	久 積 育 郎
//	國 見 聖
//	樫 原 資 訓
//	辻 博 史
//	井 上 み ち 代
//	村 田 知 江 美
//	佐 伯 雅 子
監 事	清 田 敏 弘
//	坂 尾 直 也

地域ライフサポートセンター

徳島中央ライフサポートセンター

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、徳島中央ライフサポートセンターの諸事業に格段のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当センターは、地域の方々をサポートする地域福祉の拠点として、関係団体とのネットワークにより「暮らしなんでも無料相談」、日々の暮らしに役立つ情報の提供など地域の方々と労働者の福祉向上を目指した様々な事業を行い、県民の皆様の生活をサポートしています。

昨年の活動としては、恒例となりました「キウイ収穫体験祭り」を11月に佐那河内村の果樹オーナー園で行いました。当日は、前日から雨が降り続き早朝は大雨模様でしたが、幸いにも開催時刻には雨も上がり、多くの方がキウイ収穫を体験し、キウイの試食や抽選会を楽しみました。

また、毎日のように新聞・テレビ等で報道され、2016年の被害額が全国で14,151件、約406.3億円、徳島県で58件、約1.6億円と深刻な状況にある振り込み詐欺等の「特殊詐欺」、特に最近では、還付金詐欺が増加しており、中でも高齢者の方が被害に遭うケースが多くなっていることから、「特殊詐欺に遭わないように」、「運悪く被害に遭った場合にどうすればいいのか?」など、弁護士と一緒に撃退法、被害に遭った時の対処法等についての術を勉強す

る講演会「特殊詐欺?まさか、私が!」を開催しました。

講師の話から、「対策法として ◎一人で悩まない ◎相談する」とアドバイスがありました。

更に、平和や人権問題、国際交流にも積極的に取り組んだところでは。

本年も、地域住民との結びつきを強め、地域から期待される「ワンストップサービス」機能の充実に努めてまいりますので、格別のご支援、ご協力、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

＜徳島中央ライフサポートセンター役員＞

役 職 名	氏 名	所 属 団 体
会 長	宮 本 武 司	徳 島 地 域 代 表
副 会 長	遠 藤 好 人	四 国 労 金 徳 島 営 業 本 部
//	豊 田 浩	全 労 済 徳 島 推 進 本 部
//	新 居 良 雄	フ レ ッ セ
//	杉 本 友 好	徳 島 県 勤 労 者 福 祉 ネットワーク
//	松 本 光 弘	徳 島 地 域 代 表
//	藤 崎 夏 男	北 部 地 域 代 表
//	尾 田 賢 治	中 部 地 域 代 表
事 務 局 長	板 東 喜 代 子	専 従
理 事	山 本 真 史	四 国 労 金 徳 島 北 支 店
//	西 英 二	四 国 労 金 鴨 島 支 店
//	鴻 池 達 也	徳 島 地 域 代 表
//	遠 藤 弘 也	北 部 地 域 代 表
//	青 山 広 樹	徳 島 地 域 代 表
//	加 美 大 輔	中 部 地 域 代 表
//	元 川 仁	N P O 法 人 壮 生
監 事	谷 本 智	徳 島 地 域 代 表
//	大 平 和 広	北 部 地 域 代 表

徳島西部ライフサポートセンター

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は徳島西部ライフサポートセンターの活動に對しまして、ご支援とご協力をいただきましたことに心から御礼申し上げます。

当センターでは、働く者の環境や雇用を守り、生活に安心を取り戻す取組みが重要と考え、幅広い勤労者層と地域社会に根ざす「労働と生活」をサポートする運動体として様々な活動を展開しています。

昨年も生活困窮者支援事業として、つるぎ町と東みよし町の就労支援活動に取り組みました。多方面の機関と連携し、就労準備の情報の共有化を図りました。他にも、法律相談やニート相談等の相談業務、スポーツ少年団支援や着ぐるみ貸出事業、エコ活動等も実施しました。

7月23日には、夏の恒例行事である「夏休みフェスティバル」を開催しました。657名が集い、アメゴのつかみ取りや抽選会を行いました。自然と触れ合い、親子や家族で夏の思い出を作っていただけたと思います。

また、11月12日には県民と働く者のとくしまフェスタ2017の一環として「ゆとり・癒しのウォーキング～紅葉と温泉の祖谷渓谷～」を行いました。ちょうど紅葉の見頃で天気も良く、99名の参加がありました。ウォーキン

グ後はかずら橋や温泉、モノライダーを楽しみ、秋の祖谷を満喫していただきました。

このようにライフサポート事業を勤労者や地域に根ざした顔の見える運動として行っていきたいと考えています。今年も引き続き、皆様のより一層のご支援と、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

<徳島西部ライフサポートセンター役員>

役職名	氏名	職 場
会 長	大 西 茂	三好市職員労働組合連合会
副 会 長	小 谷 博 文	四国労働金庫池田支店長
〃	豊 田 浩	全労済徳島推進本部専務執行役員
〃	秋 山 光 夫	パナソニックヘルスケア労働組合四国支部
事 務 局 長	薦 泰 見	連 合 徳 島 専 従
理 事	南 馨	日本郵政グループ労働組合徳島支部
〃	逸 見 秀 夫	阿波みよし農協職員労働組合
〃	赤 窄 政 治	四 国 交 通 労 働 組 合
〃	山 下 芳 和	四国電力労働組合池田支部
〃	新 居 良 雄	フ レ ッ セ
〃	田 中 俊 行	徳島県病院職員労働組合三好病院支部
〃	近 藤 誠 志	徳島県職員労働組合三好支部
〃	三 木 玲 子	徳島県職員労働組合美馬支部
〃	仲 正 敏	美馬市職員労働組合連合会
〃	武 田 憲 明	つるぎ町職員労働組合
〃	細 田 博 樹	三好市職員労働組合連合会
〃	三 好 芳 和	東みよし町職員労働組合
〃	矢 藤 寿 浩	パナソニックヘルスケア労働組合四国支部
監 事	満寿川 誠	美馬農協職員労働組合
〃	岡 田 貴 明	四国労働金庫労働組合徳島支部池田分会

徳島南部ライフサポートセンター

新年あけましておめでとうございます。

昨年は徳島南部ライフサポートセンターの諸事業に對しまして、ご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今、私たちの生活をとりまく情勢は大変厳しく、1強の政治といわれるなかで、強い者だけが益々豊かになっていく弱肉強食の社会が一方的に押し進められている感があります。取り残された弱者は、将来への不安に苛まれるばかりです。

貧困児童、ワーキングプア、下流老人などという言葉がとびかう今日、政策・制度の狭間で苦しむ弱者の方々などを目の当たりにし、任務の一層の重要性和同時にその困難性を痛感する毎日です。

私たちは本年も微力ながら「生きがい・やりがい・働きがい」を求める人たちの為に、色々な角度や形でのサポートに努める」ことが任務であるとの認識を、より一層強く持ちながら、「なんでも相談」や「運転免許特別講座」「パソコン教室」などの講座のサポート、各種イベントの開催との協賛、エコ運動の推進など

の活動を、地域の方々や労働福祉団体、NPO、社会的資源などと連携しながら進めていきたいと考えます。

今後ともご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

<徳島南部ライフサポートセンター役員>

役職名	氏名	所 属 団 体
会 長	松 本 佳 彦	自治労 阿南市職労連
副 会 長	宮 田 義 文	J P 労 組 徳 島 南 支 部
〃	加 藤 憲 司	新日本電工労組 徳島支部
〃	森 口 芳 洋	フレックス 阿南支部
〃	今 治 五百合	四国労働金庫阿南支店
〃	豊 田 浩	全労済徳島推進本部
〃	川 原 佳 子	徳島県勤労者福祉ネットワーク
事 務 局 長	山 本 日出夫	専 従
理 事	谷 本 修 司	倉敷紡績労組 徳島支部
〃	長 尾 真 司	四国電労 阿南火力支部
〃	葉 田 博 章	紙バ連合 王子新富岡支部
〃	前 田 淳	自治労 阿南市職労連
〃	新 田 洋 二	自治労 那賀町職
〃	久 保 隆 弘	自治労 牟岐町職
〃	丸 岡 義 謙	全国一般 柏涛会支部
〃	遠 藤 伸 輔	阿南農協労組
監 事	清 水 昇	自治労 徳島県職
〃	篠 原 裕 助	新日本電工労組 徳島支部
書 記	生 原 ひろみ	専 従

新春お年玉 プレゼント!!

問題 カズオ・イシ●口

2017年にノーベル文学賞を受賞した長崎県出身の日系イギリス人小説家は？(○に当てはまるカタカナ1文字をお答えください)

正解者の中から
抽選で30名様に
図書券(1,000円)を
プレゼントします。

応募方法

官製ハガキまたはFAX用紙に解答を書いて、下記あて先まで送付して下さい。その際、住所、氏名を必ずお書き下さい。

応募締切日 2018年1月末日

送付先

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1
(公社) 徳島県労働者福祉協議会
お年玉プレゼント係 FAX 088-625-5113



平日、忙しい人のために
休日に相談できる
ところがあるんだって。
けっこう、いいよね。
だから、私も、ろうきん。

けっぴう使える。
ろうきん

あなたと
わかちあう
次の一歩

ろうきん

ZENROSAI NEWS

最大22等級・64%割引!

安全運転を続けられた方に
有利な等級制度があります。

団体掛金適用!

所属の団体を通じて
ご加入いただくと、
団体掛金が適用されます。

カンタン!無料! お見積もり

お手元に**保険証券(共済証書)**と**車検証のコピー**をご用意のうえ、
所属の団体または全労済までお問い合わせください。

ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。
ご契約の際は「リーフレット」「ご契約のてびき(契約概要・注意喚起情報)」をかならずご確認ください。

もしものトラブルもしっかりサポート!

例えば 24時間365日受付 マイカー共済ロードサービス

 自走不能な場合の
レッカーけん引または
積載車による搬送

 現地にて実施可能な
30分以内の路上
クイックサービス

 燃料切れ時
ガソリン等
お届けサービス

さまざまな特約・割引でおトク!

例えば

運転者本人・配偶者
限定特約

7%割引!

ハイブリッド車割引

7%割引!

セカンドカー割引

2台目以降は
7等級から開始!





全労済は60周年

全労済のマイカー共済

自動車総合補償共済

自賠責共済とあわせてのご加入をおすすめします。

〈お問い合わせ先〉

新しく組合員になれる方へ(出資金について) 全労済は消費生活協同組合法にもとづき、非営利で共済事業を営む生活協同組合の連合会です。生活協同組合は、組合員の参加により運営されており、出資金をお支払いいただくだけでなく、各都道府県生活協同組合の組合員となることで、各種共済に加入できます。新しく組合員となる方には、生活協同組合連合会のために出資(1,000円以上)をお願いしています(出資金は1口100円で、最低1口以上の出資が必要です)。出資金は、加入される共済の掛金払込方法に応じて次のとおりお預けしています。【掛金の払込方法】月払いの場合:1,200円(毎月100円×12ヵ月)、半年払いの場合:1,000円(1回500円×2回)、年払いの場合:1,000円(1回のみ)、一時払いの場合:1,000円(1回のみ)をマイカー共済のみ・月払い・年払いの場合ともに1,000円(1回のみ)

全労済は、将来の支払いに備えて、厚生労働省令に定められている共済契約準備金をこえる十分な積み立てを行っています。また、資産運用のリスクを適切に管理し、健全な資産運用を行っています。全労済は、これらも引き続き健全な経営に努めていくとともに、情報開示を積極的に進めていきます。また、個人情報保護法をはじめ関連する法令等を遵守し、お預かりしたお客さまに関する情報について厳重な管理体制のもとに正確性・機密性・安全性の確保に努めています(※詳しくは各都道府県全労済にお問い合わせください)。

●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。ご契約の際は「ご契約のてびき(契約概要・注意喚起情報)」を必ずご確認ください。

全労済は、恩恵を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会